

## 春の熱い戦い

### 東日本パークゴルフ選手権大会



第16回東日本パークゴルフ選手権大会は4月9日、相馬光陽パークゴルフ場で開催されました。

山形県、宮城県などのパークゴルフプレーヤー213人が出場し、福島民報社が主催、市および市教育委員会の後援。

競技では二の丸A・B、本丸A・B・Cの5コース、45ホールストロークプレーで行われ、参加者たちは花冷えの中、熱戦を繰り広げました。

## 相馬野馬追に向けて

### 相馬中村神社災害復旧工事

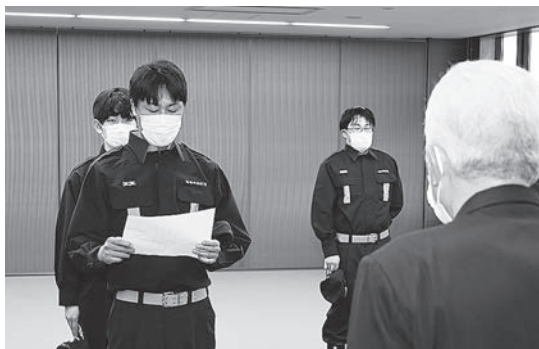
相馬中村神社本殿などの復旧工事に伴う本殿扉の取り外しは4月10日、同神社で行われました。

同神社では、令和4年福島県沖地震によって国指定重要文化財である同社殿の一部に被害があったため、3月より災害復旧工事に着手。

当日は、本殿内陣と前室を区切る黒漆塗りの扉が取り外され、地震によりひび割れが生じた表面の漆の塗り直しを行うために運び出されました。



## 地域の安全と安心を守る市消防団員辞令交付式



令和5年度の市消防団員辞令交付式は4月7日、市役所で行われ7人の新入団員が辞令の交付を受けました。

第7分団の菅野友宣さんの新入団員宣言のあと、鎌田重昭消防団長が「先輩団員の指導を受け、消防団員としての自覚と誇りを持って、防火防災活動にまい進してください」と訓示を述べました。

階級変更による新たな部長なども辞令の交付を受け、防災の意識を新たにしました。

## 防災への士気を高める消防春季検閲式

市消防春季検閲式は4月23日、二の丸球場で開かれ、消防団員と女性消防隊員など約300人が参加しました。

鎌田重昭消防団長の訓示に続き、立谷市長が「地域住民の身近な存在である消防団員は、災害時に市民を守る最大の力だと思えます。誇りを持って消防団活動に精励ください」と訓示し、通常点検を実施しました。

団員は、きびきびした動きで点検を行い、予防消防の重要性を共有するとともに、防



災への士気を高めました。

## 地域のことは地域で守る

### 中村東部第8区自主防災会

自主防災組織結成への認定証交付式は4月13日、市役所で行われ、中村東部第8区自主防災会会長の草野等さんが認定証の交付を受けました。

自主防災会は、主に行政区単位で設立されており、防災意識の啓発のほか、訓練の実施や災害発生時に地区内の要支援者のサポートなどを実施。式では、立谷市長から草野さんに認定証が手渡されました。



# 幼稚園・小学校防災訓練

## ▽八幡幼稚園・小学校



八幡幼稚園・小学校の防災訓練は4月17日、同所で行われ、園児8人、児童101人らが参加しました。  
当日は、給食室からの火災を想定して行われ、園児らは火災発生の際に放送が流れた後、教師の指示に従って校庭に避難しました。  
続いて、放水訓練や消火器訓練などが行われ、代表児童が消防団員に支えられながら放水などに挑戦し、消防団活動を体験しました。

## ▽中村第一小学校

中村第一小学校の防災訓練は4月21日、同小学校で行われ、児童331人らが参加しました。

当日は、地震発生の際に放送が流れた後、児童は机の下に隠れ、続く給食室での火災発生の際に放送の指示に従い、火元から離れた出入口から校庭に避難しました。

続いて、放水訓練や消火器訓練が行われ、代表児童が消防団員に支えられながら放水に挑戦し、消防団活動を体験しました。



## ▽桜丘小学校



桜丘小学校の引き渡し訓練は5月2日、同小学校で行われ、児童46人と保護者が参加しました。

災害から命を守るための迅速な行動と安全な退避を身に付けることを目的に実施。

当日は、大雨・暴風・洪水警報の発令を想定し、保護者への引き渡しメールが送信されました。

児童らは、迎えにきた保護者と一緒に下校し、災害時の行動への理解を深めました。

## 自己マネジメント力を身につける

### 学力向上対策協議会

学力向上対策協議会は4月18日、市役所で開催され、市小・中学校長会、市PTA連絡協議会の代表ら6人が参加しました。

当日は、学校教育課職員からの小・中学生の家庭学習に関する現状報告が続いて、参加者らで協議が行われました。参加者からは、「子どもに訴えかける内容のポスターを作るのはいかがか」などの意見が出され、家庭学習の方針について議論が交わされました。



## 子どもの読書を支援する活動などが 評価 文部科学大臣表彰受賞報告

令和5年度子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）文部科学大臣表彰受賞報告は4月25日、市役所で行われ、佐藤史生さんが立谷市長を訪れました。

佐藤さんは、NPO法人3・11子ども文庫の理事として子どもたちの読書を支援する活動を継続していることなどが高い評価を受けました。報告を受けた立谷市長は、受賞をたたえました。

## 林野や農作物を守る 市有林野看守人、市鳥獣被害対策実施隊員委嘱状交付式



市有林野看守人委嘱状交付式および市鳥獣被害対策実施隊員委嘱状交付式は4月10日、市役所で行われ、齋藤誠一さんから4人が出席しました。

市有林野看守人は山林を巡視し倒木や不法投棄の発見など、市鳥獣被害対策実施隊員はイノシシなどの有害鳥獣の捕獲などにそれぞれ従事し、林野や農作物の保護のために活動しています。

式で、立谷市長は齋藤さんらに委嘱状を手渡しました。

## 身近にある薬草について学ぶ

### 中央公民館ス・パイス講座

中央公民館「ス・パイス講座」は4月29日、同公民館で開催され、市民ら16人が参加しました。

講師に薬草コーディネーターの畑中昌子さんを迎え、ツクシやタンポポなどの健康効果や食する際の注意点や食べ方などが説明されました。

参加者は、講師が用意した薬草茶やおひたし、卵とじなどを試食しながら、自宅での活用のため、薬草の調理方法を熱心に学んでいました。



## 市民と市をつなぐ 新任行政区長委嘱状交付式



新任行政区長委嘱状交付式は4月20日、市役所で行われ、新しく委嘱される四栗伸一行政区長が出席しました。

式で、立谷市長は委嘱状を手渡し、「市としても行政区長と連携しながら市政を進めていきたいので、よろしくお願ひします」とあいさつしました。

また、同日、退任した佐藤正人前行政区長に感謝状が贈呈され、立谷市長はこれまでの尽力に対し、感謝の言葉を述べました。

## すべり台などの遊具を寄贈

### プレイグラウンド・オブ・ホープ

すべり台などの遊具の寄贈式は4月11日、相馬愛育園で行われ、関係者や親子ら約140人が参加しました。

同寄贈は、NPO法人プレイグラウンド・オブ・ホープが遊具のコーディネーターや設置などを担当し、ヒルトン東京ベイが支援。

当日は、寄贈された遊具が開放されると、子どもたちは遊具に向かって駆け出し、元気いっぱい遊んでいました。



## 音に親しむ

### 親子リトミック教室

親子リトミック教室は4月22日、相馬愛育園で開催され、市内の親子ら50人が参加しました。

当日は、講師が演奏するピアノに合わせてスカーフに隠れる「いないいないばあ」や、薄紙を花びらに見立てて遊ぶ「花びらひらひら」などが行われました。

参加した親子は、色とりどりのスカーフや薄紙を使い、音楽を楽しみながら体を動かしました。

動画はこちら



## 旅館の板前が指導 相馬のお魚料理教室



中央公民館および大野公民館の共同開催の「相馬のお魚料理教室」は4月24日、大野公民館で開催され、市民ら8人が参加し、焼き魚に挑戦しました。

当日は、松川浦ガイドの会から2人の講師を迎え、イシモチの下処理の方法、焼き方のコツなどを学びました。

参加した市民らは、講師の実演を見た後、塩焼きと柚庵焼きを調理し、相馬産の魚への理解を深めました。

## 料理と昔あそびを体験

### 中央公民館子ども教室

中央公民館子ども教室「かしわもち作り&昔あそび体験」は4月29日、同公民館で開催され、市内の小学生ら22人が参加しました。

当日は、NPO法人相馬生活文化応援隊のスタッフに教えられながら、「かしわもち作り」では、上新粉やもち粉をこねる工程から柏餅作りを行い、「昔あそび体験」では、こま回しやけん玉、お手玉などに挑戦しました。

参加した児童らは、柏餅作りなどを通して楽しい時間を



過ごしました。

## 郷土の味を堪能

### 復活の浜焼き



「復活の浜焼き」イベントは5月3日、旅館いさみや駐車場で開催され、多くの市民や観光客などが訪れました。

同イベントは、市内松川浦地区の旅館の若手経営者などで構成された松川浦ガイドの会が主催するもので、東日本大震災によって途絶えていた松川浦地区の風物詩、浜焼きを復活させるために開催。

当日は、松川浦の心地よい潮風の中、イシモチ、カレイ、イカ、エビなどの地域で親しまれている魚介類が炭火で焼かれ、訪れた人たちは香ばしい郷土の味を堪能しました。

## パパと遊ぼう

### WPC (ワールド。パカップ)

パパと遊ぼうWPC(ワールド。パカップ)は4月29日、相馬愛育園で開催され、市内の親子ら15組54人が参加しました。

当日は、準備体操をした後、段ボールの車を使った「段ボールカー競争」や親子で大きいパンツをはいて競争する「ビッグパンツリレー」など4つの競技が行われました。

参加した親子らは、晴天の下で仲良く体を動かし、心地よい汗を流しました。



## 孤立しない子育てのために

### ベビーアイアイ広場

ベビーアイアイ広場は5月9日、相馬愛育園で開催され、親子ら28人が参加しました。

当日は、職員のかげ声のもと、互いにスキンシップを取りながら行う手遊びやキャラクターターの似顔絵作り、音楽に合わせた体操などを行い、全身を使って遊びました。

参加した親子らは、遊びや交流を通して、和やかな時間を過ごしていました。

## 歌と管弦楽の音色を楽しむ

### そうま音楽夢工房演奏会



そうま音楽夢工房第75回演奏会「鶴木絵里×仙台フィル管弦楽九重奏」心はずむ名曲コンサートは4月29日、市民会館で開催され、市民ら180人が訪れました。

出演者は、ソプラノ歌手の鶴木絵里さんと仙台フィルハーモニー管弦楽団員ら10人。当日は、歌劇「ファウスト」より「宝石の歌」などが演奏され、訪れた人たちは、歌と管弦楽が織りなす美しい音色に聴き入っていました。

## 早朝から大勢の市民が参加

### 市民総参加空き缶拾い

第39回市民総参加空き缶拾いは4月23日、6時の花火を合図に、市内一斉に始まりました。

同空き缶拾いは、道路や空き地などのごみを無くし、きれいで住みよい地域づくりを目的に毎年実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により市内一斉での開催は4年ぶり。参加者は早朝の澄んだ空気の中、協力して空き缶などのごみを集め、それぞれ指定の



集積場所を分別を行いました。

## 鈴木猛史氏講演会 未来への「志」 づくり事業



未来への「志」づくり事業講演会は5月10日、市民会館で開催され、相馬高等学校、相馬総合高等学校の1年生ら約330人が参加しました。

同講演会は市民会館の主催。アルペンスキー選手の鈴木猛史さんによる「両足を失い見つけ掴んだ夢」と題した講演が行われ、鈴木さんは、交通事故で両足を切断しながらも、周囲の助けを借りて、パラリンピックの金メダリストになるまでの自らの体験を述べ、生徒たちに諦めずにチャレンジすることの大切さを伝えました。

## 子どもたちの読解力向上に向けて

### 公立学校研究指導員会

公立学校研究指導員会は4月25日、市役所で開催され、小・中学校の教員13人が参加しました。

当日は、今年度の活動計画を決定したほか、グループワークで小学校の社会科の教科書をもとに授業構成の検討や模擬授業が行われました。参加した教員は、グループワークでの意見交換などを通して、より効果的な指導方法を研究していました。



## 子どもたちの学力向上に向けて

### 市立小・中学校学力向上推進会議

市立小・中学校学力向上推進会議は4月26日、市役所で開催され、小・中学校の教員13人が参加しました。

当日は、各学校での家庭学習に関する指導内容などの情報交換などが行われました。参加した教員からは、「家庭学習の方法について保護者から相談が寄せられる」などの報告があり、同会議では市の実態を踏まえた家庭学習の質的改善について、今後も協議を続けることとしました。

